



[著者]

清水ヒデキ 豪援隊長
弁護士・移民コンサルタント
(MARN:9900985)

「オーストラリアから日本を援
けよう」と豪援隊発足。16歳
で単身オーストラリアに留
学。その後、ボンド大学を卒
業し、QLD州弁護士資格取
得。長年に渡り、日本人なら
びに日系企業、世界各国の
クライアントのコンサルタント
業務に従事。



インデックス

- 今月のジョーク 1
- 今月の名言 1
- 今月の視点
- 今月のジョーク 2
- 今月の新着情報
- 今月のジョーク 3
- 今月の名言 2
- 今月のコピペ
- 今月の名言 3
- 今月のジョーク 4
- セミナーのお知らせ



<http://zoesangels.org/>
Go オーストラリアグルー
プは、Zoe's Angels
「Zoeの天使たち」を
支援しています。

Go Australia
Visa Consultant

Go Australia Concierge

Go Australia
Business Solutions

Conveyancing Home
QLD

Shimizu Kokusai
Law Office



今月のジョーク 其の壱

(ジョーク集より)

看護師が訪問客に精神病院の内部を案内して回っている、通りかかったある部屋の中に一人の患者が座って、ぬいぐるみを抱きしめ、始終それにキスをしていた。「あの人はどうしたんです？」と、訪問客の一人が看護師に尋ねた。「ある女性と結婚できなかったために、頭がおかしくなったんです」次の部屋では、患者が繰り返し壁に頭をぶつけて、ときどき大きな声でわめいていた。「あの人はどうしたんです？」「あれは、その女性と結婚した人です」

今月の名言 其の壱

ブレーズ・パスカル

人間は天使でもなければ、獣でもない。だが不幸なことに、人間は天使のようにふるまおうと思いつきながら、まるで獣のように行動する。



今月の視点

まだまだ暑い日が続くオーストラリアですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

2月のオーストラリアは、この一年の波乱万丈な様子予期されるように、色々なことが動き出した月となりました。そんなこんなで、今月の視点です。

1. 死刑執行

インドネシアから麻薬を持ち出そうとしていた若者たち9人。俗にいう Bali Nine (バリの9人)のうち、主犯格であった2人の若者の死刑が執行されるということで、オーストラリア政府ならびに著名人・有名人がインドネシア政府ならびに大統領に対して、死刑執行の取り消しを強く求める運動を続けています。オーストラリアでは死刑は1967年を最後に廃止されているため、死刑に対する反対意識が比較的に強いお国柄であることは間違いありません。日本でも死刑は存在し、その時の法務大臣の指示により執行されることとなりますが、日本でも死刑に関する意見はいろいろとあるようです。もちろん、死刑受刑者の人権、宗教上、モラル上人間が他の人間の命を奪い取るという行為が許されるのかという議論がありますが、現実問題としてその人間が作った法律にて、特定の罪を犯した者への罰則として死刑が決まっています。犯した罪を償うのは当然のこと、そして、それぞれの国において、その文化や宗教上の背景から、罰金刑であったり、禁固刑であったり、極刑であったりとするわけで、改めてところ変わればということを感じ知る気がします。

2. 公定歩合利下げ

2月初めに豪中央銀行によって公定歩合が0.25%引き下げられ、2.25%となりました。インフレ率が落ち着いていること、原油安、経済成長の停滞等がその理由ということです。その反面、不動産市場は比較的好調のようです。特にシドニーやメルボルンなどの都市部においては、中国人をはじめとする外国人投資家による不動産の買い占めが、不動産価格を上げているということで問題視されているようです、日本でも中国人旅行者による「爆買い」がニュースになっていることを目にしますが、中国人の「爆買い」はオーストラリアでも注意を集めているようです。

3. 政権不安定

QLD州議会選挙の結果は、アボット政権に深刻な警告となりました。QLD州議会選挙戦最中、候補者が一生懸命に選挙運動をしている中、いつもなら自党の応援に来るべきアボット首相の姿は一切見られませんでした。噂では、ニューマン前州知事より、選挙戦にマイナスになるため、アボット首相に選挙運動に顔を出すなどと言ったとか、言わないとか。。。アボット首相の試練はこれだけにとどまらず、首相自身の進退も問われることとなりました。党内で、アボット党首の「すぐ替えを行うべきだ」という声が多く上がり、党首の再選出を行うこととなりました。対抗馬の呼び声があったビショップ副首相ならびにマルコムコミュニケーション・経済担当大臣は、結果的には出馬を取りやめ、アボット首相は再度党首としての信任を再度得ることとなりました。マスコミからは、労働党時代のラッドとギラードの再来かという騒がれ方をしましたが、自由党はその点、やり方が大人のように、党の分裂を招くようなことをせず、静々と次の機会を待つことにしたようです。怖い、怖い...

4. 大学生との研修旅行

偶然にも、ある大学生グループの研修旅行に引率してブリスベンからすぐ近くにあるタンガルーマリゾートに行ってきました。このリゾートは世界的にも珍しい野生のイルカの餌付けをできるリゾートとして知られています。15人の学生たちと、1泊2日の研修旅行でしたが、普段大学生、特に日本の大学生とあまり接する機会もない筆者、どのような会話をしたらいいのか、学生の集まりに筆者のようなオッサンが同行しても学生さんたちは迷惑だろうなあなどと考えておりました。正にジェネレーションギャップを危惧しておりました。しかし、そんな心配も必要がないくらいの、本当に礼儀正しい学生さんばかりで、こちらでの語学研修やホームステイ先での様々な出来事など、いろいろなお話を聞かせてもらいました。さすがに、夕食後には宿泊部屋に失礼させていただきましたが、学生さんたちは夜通し徹夜でおしゃべりやゲームを楽しんでいたようで、翌朝6時にビーチへの散歩に行った際には、平均睡眠時間20分の学生さんたちが、すでに海水浴をみんな楽しんでいました。そのあまりの元気さと無邪気にはしゃいでるさまに、「若いなあ」「青春だなあ」と一人考えていた筆者、頭の中では朝日をバックに森田健作の「さらば涙と言おう」がBGM状態。(これ自体、まさにジェネレーションギャップですが。)とにかく、学生さんたちにたくさんの元気をもらった、楽しい旅行でした。タンガルーマリゾートのスタッフの皆さん、大変お世話になりました。皆さまも、機会があれば、ぜひタンガルーマリゾートに足を運ばれてはどうでしょうか？

5. バレンタインデー

2月14日はバレンタインデーでした。日本は製菓会社の陰謀にうまくはめられて、女性がチョコレートを渡すのが風習となっておりますが、オーストラリアは男女が好きな人に対して、愛情を確認する日となっています。(おそらく、これが本来のバレンタインデーということなのだと思います。)この日は、どのレストランもカップルで賑わいます。彼氏、彼女に渡すプレゼントや花束を持った人たちが、街中に目立ちます。弊社のスタッフたちも、それぞれ予定を立てていたようで、14日の前後には何をやる、何をしようだったという話が職場で盛り上がっていました。オーストラリア人は、こういった行事、イベントは非常に大切にすることで、逆に何もしないと相手からの冷たい態度に悩まされることとなります。えっ、筆者は何をしたかって？もちろん、週末であったため、オフィスに行かなかったこともあり、筆者の有能秘書が奥様に渡すプレゼントも花束も用意してくれておらず、すっかり忘れてしまいました。そのため、来年までチクチクと嫌味を言われ続けることとなります。

今月のジョーク 其の貳

高速道路を運転していると、家にいる奥さんからケータイがかかってきた。「あなた！いまテレビのニュースで見たんだけど、1台の車が猛スピードで高速を逆走しているんですけど！気を付けてね！」
「そ、それどころじゃないよ。こっちは何百台も逆走してる車がいるんだ！」



(ジョーク集より)

今月の新着情報

FIRB (Foreign Investment Review Board)

一時滞在ビザ(Temporary visa)保持者(“外国人”)による不動産購入の場合、FIRBへの申請が必要ですが、現在のところ、残存期間に関係なく12ヶ月以上のビザを保持していることを条件に申請が可能です。

この度、昨今の外国人による不動産購入が横行したことで、主な都市部の不動産が高騰。自国オーストラリア人のマイホーム購入が遠ざかっている傾向を懸念し、財務相が政府へ法改定を求めています。改定後の案として、以下が挙げられています。

- \$1,000,000未満の不動産購入:FIRB申請料\$5,000
- \$1,000,000以上の不動産購入:FIRB申請料\$10,000
- オーストラリア滞在を新システムで徹底管理し、FIRB認可後の条件を満たさなかった場合、不動産価格の最大25%の罰金、且つ、不動産売却命令
- \$1,000,000以上の価値を持つオーストラリア企業を買収:FIRB申請料\$100,000
- 上記以外のオーストラリア企業を買収:FIRB申請料\$25,000

187 RSMS (Regional Sponsored Migration Scheme)

RSMSのダイレクトエントリーストリーム申請において、Certificate IV以上の関連する学歴を証明できる場合、2年間の職歴は必要なくなりました。

今月のジョーク 其の参

(ジョーク集より)

小さなセスナ機が飛行中、エンジントラブルに見舞われた。「この飛行機はまもなく墜落します。私は事故の報告をする義務があります」パイロットはそう言うと、4つしかないパラシュートのひとつを背負うと飛び降りてしまった。残された乗客は4人。パラシュートは3つしか残っていない。するとひとりの男が、「私は医者だ。たくさん人の命を救うことができる」といってパラシュートを背負って飛び降りていった。残ったパラシュートは2個。次の男が、「私は弁護士。世界でも最も頭脳明晰といわれた男だ。生きる権利がある」といってパラシュートを背負って、飛び降りていった。残ったパラシュートは1個。残った乗客は、牧師と少年だった。牧師はいった。「私は充分長く生きた。君には未来がある。パラシュートを持っていきなさい」すると少年はいった。「牧師さん、大丈夫です。パラシュートはまだ2個残っていますよ」「ええっ なぜ？」と驚く牧師さん。「だって、さっき世界でもっとも頭脳明晰な男が、僕のリュックを背負って飛び降りていきましたから」

今月の名言 其の貳

明石家さんま

「努力は報われると思う人はダメですね。努力を努力だと思ってる人は大体間違い好きだからやってるだけよ、で終わっという方がええね。これが報われるんだと思うとよくない。こっだけ努力してるのに何で？ってなると腹が立つやろ。人は見返り求めるとろくなことないからね。見返りなしでできる人が一番素敵な人やね」

今月のコピペ

私には、お母さんが二人いた。
一人は、私に生きるチャンスを与えてくれた。もう一人は…
私の17歳の誕生日に母が継母であったことを聞かされた。
私を生んでくれたお母さんは、産後すぐに亡くなったようだ。
生みの親より育ての親…なんていうが、そのときの私は今まで騙されてきたという怒りと、馴れ親しんだ母が急に他人に
見え、両親の話もきかず部屋でふてくされて泣いていた。
翌日から母を「おばさん」と呼ぶようになった。そう呼ぶと母
はたまらなく悲しそうな顔をした。その後、なにかと私に気をつ
つかいだし、必死になる母をよけいに煩わしく感じ、口もきか
なくなってしまう。なんとなく家に居ずらくなったので、夜は
出かけるようになった。

それから一ヶ月がたとうとする頃、シカトし続ける私に母が
「部屋で読んでね」と手紙を差し出してきた。が、私はその場
でぐしゃぐしゃに丸めゴミ箱に捨ててしまった。それを見てい
た父が私をはり倒し、震える声で「母さんはなあ…」と言った
が、私はろくすっぽ聞かずに泣きながら自分の部屋に逃げた。

…翌日、母は帰らぬ人となった。居眠り運転をしていたトラ
ックが赤信号を無視し、母に突っ込んだようだ。即死だった。
あまりに急な出来事のため泣くこともできず、通夜が終わった
後も母のそばでぼう然としていた私に、父がボロボロの紙
きれを渡し、一言「読め」といった。昨日の手紙であった。
そこには母らしい温かい字でこう書いてあった。

「千夏ちゃんへ
17年間騙してごめんなさい。お父さんはもっと早くに言
おうとしてたんですが、あなたに嫌われるんじゃないかと思
い、あんなに遅くなってしまいました。あなたの気持ち、とても
よくわかる。だってお母さん、偽者だったんだもんね…。でも
ね、お母さん、あなたのことを本当のお母さんに負けないぐら
い愛してるんだよ。千夏が成人しても、旦那さんができてもず
っと…」

泣きながら書いたのか、字のところどころがにじんでいる。そ
して最後に震える字でこうあった。

「…だから、…また「お母さん」って呼んでね。」
私を感じた寂しさを、母は17年も耐えていたのだ。
人の気持ちを考えられなかった私は、一ヶ月もの間、母を苦
しめたのだ。

「お母さん…」
一ヶ月ぶりに発したその言葉は、冷たくなった母の耳には届
かない。

今月のジョーク 其の四

(ジョーク集より)

闘牛の盛んなスペイン。そのスペインのとある闘牛場には隣
にレストランがある。そこでは、毎日闘牛士によって力尽きた
哀れな牛たちの睾丸が珍味として振舞われていた。

客：「いつもの御願ひするよ。」

給仕：「畏まりました。…お待たせしました。」

客：「ありがとう…ん？ 今日のはやけに
小さいなあ。今日は子牛が相手だったの
かい？ 情けない闘牛士だな！ hahaha！」

給仕：「はい、情けない闘牛士でしたので
今日は牛が勝ちまして…」



東京&大阪 無料セミナー開催のお知らせ

「オーストラリア投資・移住・相続とおき情報セミナー」

投資家やビジネスオーナーとしてオーストラリアへの移住や
事業進出を考えていらっしゃる方々のための、買収候補先の
紹介や相続などを踏まえた海外投資、オーストラリアでの相
続に関する状況など、普段あまり聞けない話を聞くことがで
きる貴重なチャンスです。

講師は当社代表弁護士であり公認移民コンサルタントである
清水英樹、ならびに日本で唯一の無人島ブローカーとして知
られる、外資投資物件のエキスパート A-Styles 社代表取締役
佐藤政信氏が務めさせていただきます。

参加お申込みは、当社ウェブサイト、メールまたはお電話で
受け付けております。定員になり次第締め切らせていただき
ますので、お早目にご予約ください。

【東京】

日時： 2015年4月22日(水)午後2時～

会場： ルビコン 会議場

住所： 東京都中央区日本橋茅場町 2-7-3

イースト インタービル 7F

アクセス： 茅場町駅 5 番出口徒歩 3 分

日本橋駅 D1 出口徒歩 5 分

【大阪】

日時： 2015年4月23日(木)午後～2時～

※大阪セミナーの会場は現在調整中となります。確定次第、
改めてご案内致します。

今月の名言 其の参

マザーテレサ

あなたは、あなたで
あればいい。
神様は私たちに、
成功してほしいなんて
思っていません。
ただ、挑戦することを
望んでいるだけよ。



 Go Australia Visa Consultant

ゴールドコースト事務所

Suite 222, Level 2, Watermark Hotel & Spa
3032 Surfers Paradise Blvd, Surfers Paradise QLD 4217

ブリスベン事務所

Level 2, 262 Adelaide St, Brisbane QLD 4000

E: info@goaustralia-visa.com

<電話でのお問合せ>

オーストラリアから: 07-5570-4542 (月～金 9:00-17:00)

日本から: 03-4283-8484 (日本時間 月～金 8:00-16:00)

www.goaustralia-visa.com